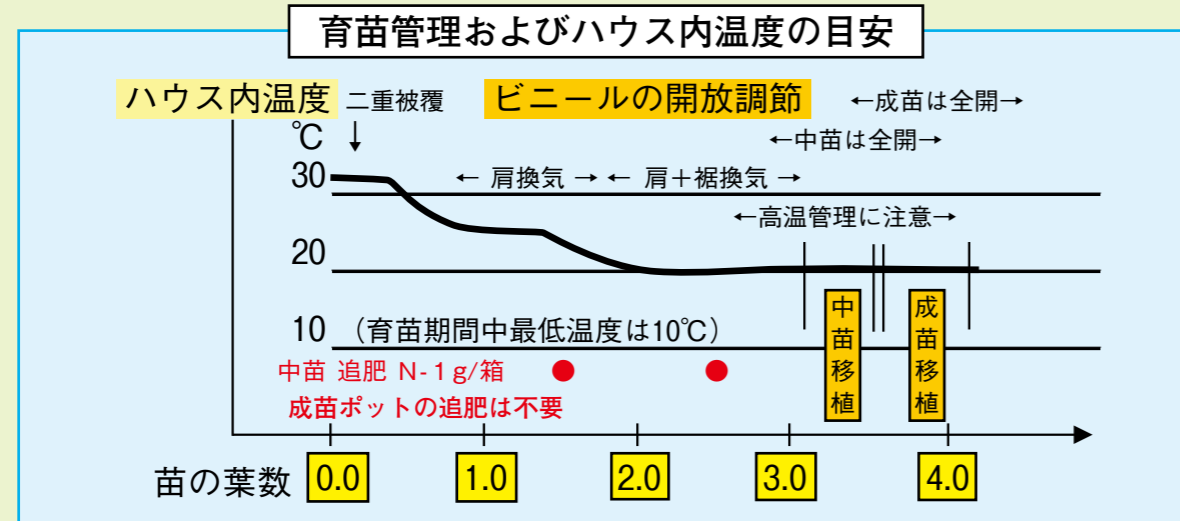


平成26年度 水稲育苗管理のチェックポイント

- ◆早期異常出穂の原因は、育苗期間後半の高温と育苗日数延長による苗の老化です。
- ◆育苗後半（2.5葉期以降）はハウス内温度を25℃以上にしないよう、ハウスを開放して換気を徹底しましょう！
- ◆「ばか苗病」の発生事例が増えています！「ばか苗病」は、的確な種子消毒と環境衛生の徹底で発生を防ぎましょう！

健苗育成



◆健苗育成のポイント：

- ・第1葉鞘高が3cm以下になるよう、苗床の温度・灌水に注意する。
- ・育苗後半（2.5葉期以降）のハウス内温度を25℃以上にしないよう、ハウスを開放して、換気を徹底する。

◆育苗日数の目安：

中生品種は30～35日
(早生品種、早期異常出穂しやすい品種では育苗日数を延長しない)

早期異常出穂対策

- ◆早期異常出穂のリスクが低い苗形質は、草丈13cm以内、葉令は「ななつぼし」4.0葉以下、「ゆめぴりか」4.3葉以下、「きらら397」4.4葉以下である。
- ◆品種の早期異常出穂リスクの程度

きらら397 < ほしのゆめ < ゆめぴりか < ななつぼし < 大地の星
→ リスク高(しやすい)

表 早期異常出穂抑制のための苗形質と育苗管理の留意点
(成苗ポット苗) (H26普及推進事項)

移植時 苗形質	草丈	10～13cm
	乾物重	3.0～4.5g/100本
	品種別 目標葉数	きらら397 (低)* 3.6～4.4葉以内 ゆめぴりか (中) 3.6～4.3葉以内 ななつぼし (高) 3.6～4.0葉以内
育苗 管理の 留意点	育苗温度	簡易有効積算温度：400℃以内
	管理	2.5葉期以降は25℃以上としない。
	育苗日数	中生品種は30～35日

* 品種名の () は早期異常出穂リスクの程度

健苗・徒長苗

中苗	成苗	健苗	徒長苗	中苗
		直立 広い	長い 細い	
		太い	茎 細い 下葉黄化	
		多い 白い	根量 根色	

活着が早く、植え傷みせず
分けつ発生が早い。

活着が遅く、分けつ発生
が遅い。穂揃いが悪い。

ばか苗病対策

- ◆自家採種は保菌リスクが高いため、採種ほ産の種子を使用する。
- ◆必ず的確な種子消毒・浸種・催芽を行い、消毒効果を維持する。
- ◆未消毒種子や由来・消毒法が異なる種子と一緒に浸種しない。
- ◆ばか苗病発生ほ場のワラ・籾ガラ・米ぬか・粉じん等は伝染源。
種子予措の作業場やその周辺を十分清掃する。

- ◆苗床での発病苗はポット育苗ではポットごと、マット育苗では発病苗周辺も含めて土ごと抜き取る。(できればマット苗はマットごと廃棄)
- ◆抜き取った苗は、土中に埋める等、的確に処分する。

